

最速3段階カリキュラム

インプット編

弁理士試験合格のための徹底的な基礎知識習得

他の国家試験同様、弁理士試験も基礎知識がないと合格できません。平成30年度の短答本試験を例にとると、合格者と不合格者で差がついた問題は、決して難しい問題ではなく、基本的な問題でした。基本講義で学習することは、その基本問題でしっかりと得点を確保できるようにするために必要な知識です。インプット期に習得した知識が弁理士試験合格のための土台となり、合格のために必要不可欠なものになります。

第1段階

第2段階

論文解法マスター編

論文の作成方法をマスター

何から手を付けていいかわからない論文作成を効率的にマスターします。短答は正解が一つですが、論文は人それぞれに解答があり、受験経験者でも論文作成を苦手になっている方が多数います。どのような答案が、合格答案に近づくのか、その作成方法をマスターします。

アウトプット編

毎年的中する良質な答練・模試で実戦力を養成

いくら基礎知識があり、論文作成の方法を学んでも、問題演習を通じたトレーニングを積まないと得点力は伸びません。弁理士試験に合格するためには、短答本試験では、原則65%の得点を確保する必要があります。論文本試験では、受験生の上位25%以内に入る必要があります。その合格水準を満たすために、短答では絶対に落としてはいけない基本問題をしっかりと得点し、論文では問われていることに対して、正確に論述することが弁理士試験合格の秘訣です。TACの厳選された問題演習を通じて、本試験が突破できるレベルの実力を身につけます。

第3段階

1年本科生入門付き 全93回

1年本科生 全87回

インプット

入門講義

全6回

初めて学習するには、馴染みのない弁理士試験の出題科目について、法体系や各法域の関連性、条約との関係などを学び、全体像をつかみます。この後のカリキュラムをより効率良く進めるための学習ポイントを学びます。

講義回数

- 全体構造 1回
- 特許・実用新案法 1回
- 意匠法 1回
- 商標法 1回
- 条約 1回
- 不競法・著作権法 1回

1回の講義時間 (途中休憩あり)

150分

使用テキスト

入門講義テキスト

充実した補助教材

全体構造編レジュメ

入門講義で配付されるレジュメです。法律を初めて学習の方がイメージしやすいよう図解を豊富に取り入れています。



インプット

基本講義

全50回

弁理士試験合格に必要なインプットをすべて網羅し、知識の土台を固める講義です。体系編では、必要となる知識のフレームを作り、逐条編では、その体系編で形成したフレームに条文ベースの知識を丁寧に代入していきます。また逐条編では短答対策と論文対策を同時に学習できる短⇄論ハイブリッド学習を実施いたします。

体系編

全17回

講義回数

- 特許・実用新案法 8回
- 意匠法 2回
- 商標法 3回
- 条約 2回
- 不競法・著作権法 2回

1回の講義時間 (途中休憩あり)

150分

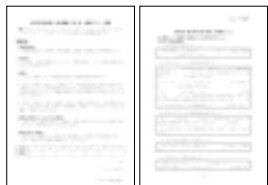
使用テキスト

ELEMENTS 1 (特・実)
ELEMENTS 2 (意匠・商標)
ELEMENTS 3 (条約・不・著)

充実した復習用教材

基本講義体系編 (復習用教材)

基本講義テキストELEMENTSから重要なキーワードを抜粋した穴埋め形式の復習用教材と学習した範囲を復習できる一問一答式の復習テストを配付いたします。講義範囲の重要な論点を問題演習を通じて学習することができます。



逐条編

全33回

講義回数

- 特許・実用新案法 12回
- 意匠法 5回
- 商標法 7回
- 条約 4回
- 不競法・著作権法 5回

1回の講義時間 (途中休憩あり)

180分

使用テキスト

基本講義テキスト逐条編 (特・実)
基本講義テキスト逐条編 (意匠・商標)
基本講義テキスト逐条編 (条約・不・著)

充実した復習用教材

体系別短答式枝別過去問題集

逐条編で学習した講義範囲から過去に短答式で出題された枝別の問題集 (過去問を厳選) を配付いたします。枝別になっているので、講義でインプットした知識が過去問でどのように問われているか、難易度はどれくらいなのかを学習初期に把握することができます。



解法

論文解法 マスター講義

全5回

論文本試験特有の出題パターンを分析し、各パターンに応じた論文作成テクニックをマスターする講義です。「何をどのように記述していくか」の段階からはじめ、最終的にはどのような出題パターンにも対応できるようにする講義です。

講義回数

- 全範囲 5回

1回の講義時間 (途中休憩あり)

150分

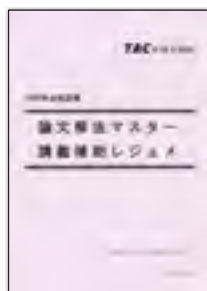
使用テキスト

論文解法マスター講義テキスト

充実した補助教材

論文解法マスター講義補助レジュメ

趣旨や判例、審査基準などの各法域の重要論点をまとめたレジュメです。論文解法マスター講義をご受講した後、復習できる大変好評な教材です。



アウトプット

短答基礎答練

全5回

基本的なレベルの実践トレーニングを実施し、本試験レベルの問題を解くための準備をするための講義です。基本的なレベルの問題を実際に解き、今まで積み上げてきた知識を実践の場でうまく活用できるようにするためのトレーニングの場です。

講義回数

- 特許・実用新案法 1回
- 意匠法 1回
- 商標法 1回
- 条約 1回
- 不競法・著作権法 1回

1回の講義時間

問題演習 90分+休憩 10分+解説講義 50分

使用教材

問題・解答解説冊子 (5冊)

アウトプット

短答応用答練

全6回

短答本試験と同じ五枝択一形式で法域ごとに実施します。本試験もしくはそれより少し高いレベルの問題を、本試験より速いスピード (本試験は3.5時間で60問 (1問あたり3分半) に対し、短答応用答練は2時間で40問 (1問あたり3分)) で解くことで、実践力を養います。

講義回数

- 特許・実用新案法 2回
- 意匠法 1回
- 商標法 1回
- 条約 1回
- 不競法・著作権法 1回

1回の講義時間

問題演習 120分+休憩 10分+解説講義 50分

使用教材

問題・解答解説冊子 (6冊)

アウトプット

短答的中答練

全4回

短答本試験と同じ五枝択一形式で出題も全範囲に拡大し、実施します。短答本試験同様の多彩な出題形式を取り入れ、本番形式に慣れるとともに、時間内に解答の取捨選択ができるような実践力を養います。短答本試験に近い難易度の問題や応用力が問われる問題も取り入れています。

講義回数

- 全範囲 4回

1回の講義時間

問題演習 120分+休憩 10分+解説講義 50分

使用教材

問題・解答解説冊子 (4冊)

アウトプット

短答式全国公開模試

全3回

本試験同様の実施時間・実施形式で実施する模擬試験です。同じ志を持った質の高い集団の中で自分の位置・レベルを確認することができます。また、TACの全国公開模試は本試験での「的中」が続出する質の高い模擬試験となっています。[詳細はP20~21]

講義回数・1回の講義時間

- 全範囲 3回
12:30~16:00 問題演習 210分
解答解説講義 90分 (Web配信のみ)

使用教材

問題・解答解説冊子 (各3冊)

アウトプット

論文式全国公開模試

全2回

本試験同様の実施時間・実施形式で実施する模擬試験です。同じ志を持った質の高い集団の中で自分の位置・レベルを確認することができます。また、TACの全国公開模試は本試験での「的中」が続出する質の高い模擬試験となっています。[詳細はP20~21]

講義回数・1回の講義時間

- 全範囲 2回
10:00~17:00 (随時休憩あり)
特許・実用新案法 120分
意匠法 90分 商標法 90分
解答解説講義 120分 (Web配信のみ)

使用教材

問題・解答解説冊子 (各2冊)